

時津町食生活改善推進協議会（にんじんグループ）の活動



昭和 58 年、厚生省（当時）による「国民健康づくり対策」事業の一環として、時津町における食生活改善推進員の養成が始まりました。以来、今日まで「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、食を通じて家庭や地域における食の担い手として、よりよい健康づくりのため様々な活動を行っています。

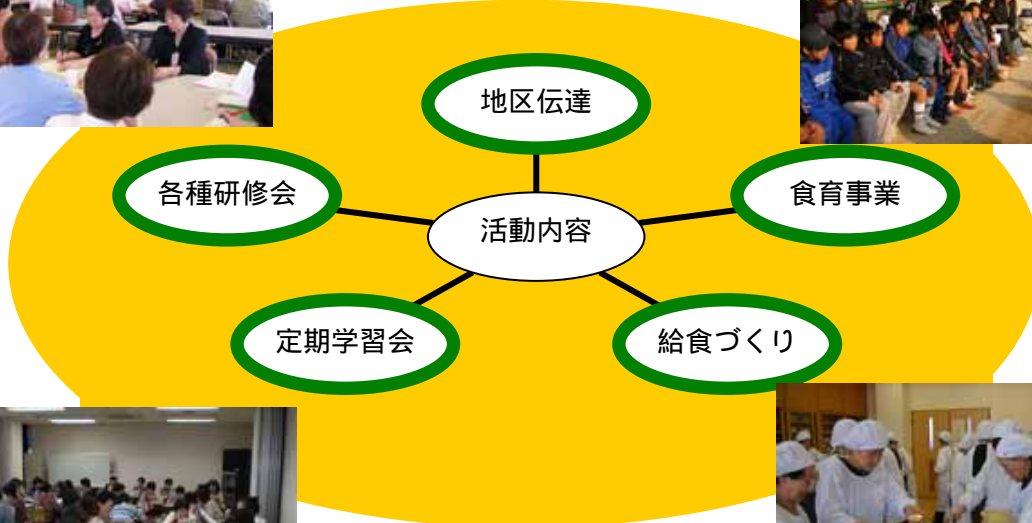
研修会や会議へ積極的に参加し、情報収集やその共有を図る。



町内 12 地区にわかれ、会員が中心となって地区栄養教室を開催し、定期的な伝達講習を行う。



離乳期から、高齢期まで幅広いライフステージを対象に、食育推進事業を実施する。



食や健康に関わる様々なテーマの学習会に参加し、会員自身のスキルアップを図る。
ここで習得した情報を、地区栄養教室を通して伝達講習する。



昭和 59 年より、単身世帯の高齢者に対する食事支援として、月に 2 回弁当作りを行う。
献立作成から調理までを会員自らが行き、加工品や添加物を使わない手作りの弁当を提供する。